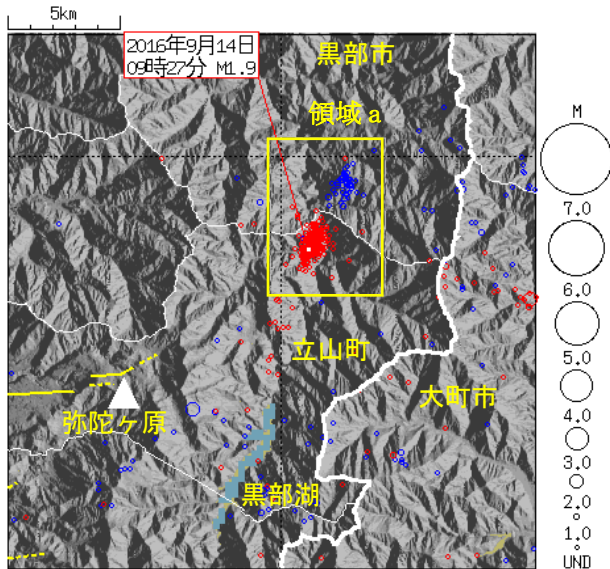


平成28年8月終わり頃から発生している 富山県東部の地震活動について

平成28年8月終わり頃から、富山県東部（黒部湖の北側付近）でまとまった地震活動が発生しています。いずれも規模の小さな地震ですが、地震活動は9月12日頃から更に活発となり、地震の規模もマグニチュード2程度で、震源近くでは人が感じる程度の揺れとなっている可能性があります。

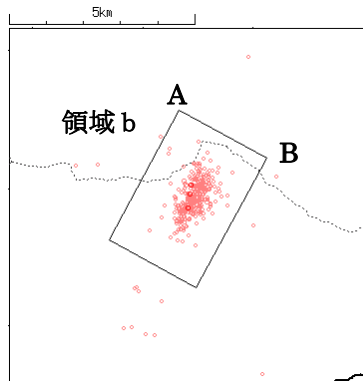
なお、活発な地震活動の領域から南西約10kmに弥陀ヶ原があります。現在、弥陀ヶ原の火山活動には特段の変化は見られず、直接の関係はありません。

震央分布図(2016年4月1日～9月16日07時
深さ0～20km、M0.0以上)

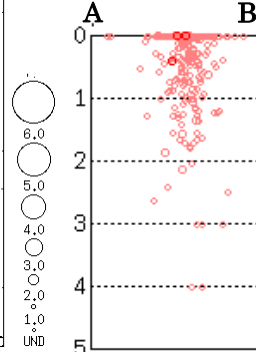


活断層は(黄色)は地震調査研究推進本部による

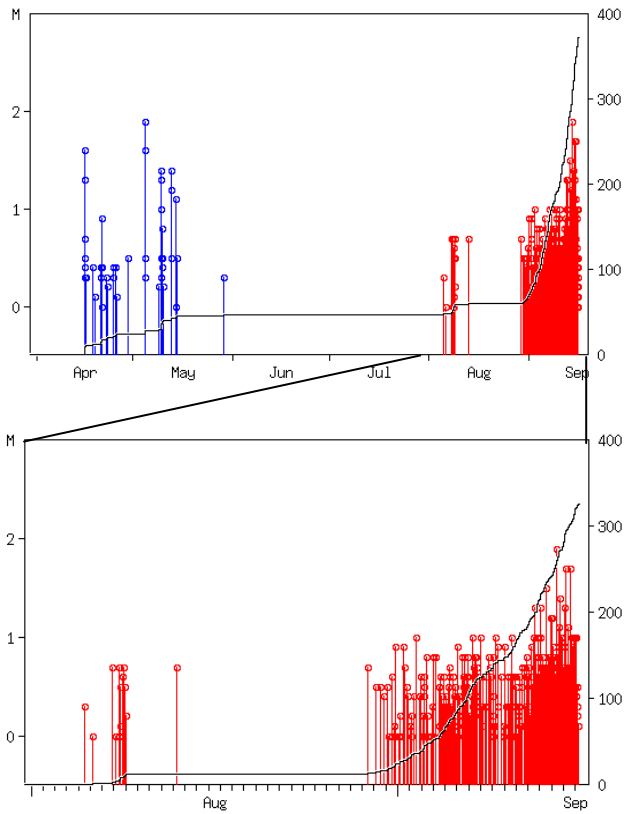
領域a内の震央分布図



領域b内の断面図



領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し合わせたものであり、丸のついた縦棒は、地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表します。

注：震源は自動処理によるものであり、誤差の大きなものが表示されることがあります。